

今週も、マニラから飛んで香港に行った。

出張先は先週の写真にも登場したラマ島である。

今回もここにある発電所での打合であり、前々日から準備のために現地入りし「ラマ島の人」になっていた。

3月8日、この打合を予定どおり午前には終え、午後からの香港行きフェリーに乗りラマ島を離れた。

20分の船旅のあと、香港セントラルの離島行きフェリーターミナルNO4棧橋に到着。

タ刻発のマニラ行き便までには、時間がある。

そこで、この界隈を歩いてみることにした。

左手に九龍側の建物やビル郡を臨みながらビクトリア・ハーバーに沿って歩くこと15分。

そしてたどりついたのがこの建物、香港立法会ビル/Legislative Council building（立法会大楼）である。

いかにも英国風のたたずまいである。丸いドームは典型的なビクトリア朝末期の様式であり、かつては植民地・香港のシンボルともなっていたものでもある。

ドーム右手の回廊に、ギリシャ神話の正義と公正の女神「テミス像」が立つ。

目隠しをし、天秤をもった姿は、法の前における公正な裁判を象徴しているという。

夜になると建物全体がライトアップされ、コロニアル様式の美しいシルエットが、ロマンチックに浮かびあがる。

1912年に完成した建築物である。

以来、時代を見ながらここに立ち続け、そして、また、これからも変わりゆく香港を見ていくことであろう。

このたたずまいに、大都会の喧騒を避け、一抹の憩いと静寂さを求めて集まる人々をいつまでも癒し続けてくれる場所であってほしい。

